

目次

1 高次脳機能障がい者が利用可能な社会資源について

2 研修会情報

3 編集後記



果物がおいしい季節になりました。柿には、ビタミンCが多く含まれており、果物の中でもトップクラスだそうです。

1. 高次脳機能障がい者が利用可能な社会資源について

高次脳機能障がいを持つことによって、生活上での困りごとが生じてくるかあると思います。今号では、そういう時に役立つ社会資源についてご紹介したいと思います。

<精神障害者保健福祉手帳の取得>

精神障害者保健福祉手帳を取得すれば、ハローワークで一般企業の障がい者枠で仕事に就く相談ができます。また、公共料金の割引や税金の控除・減免が受けられます。



<総合支援法の利用>

高次脳機能障がいの診断書や、精神障害者保健福祉手帳があれば、総合支援法の申請ができ、日常生活の自立に向けた訓練や、就労のための訓練を受けることができます。必要に応じヘルパーなども利用できます。

※40歳～64歳で、高次脳機能障がいになった原因が脳卒中の方は**介護保険制度**も利用することができます。

<就労支援機関の支援を受ける>

機関の詳細については、メールニュース第31、32号の記事をご参照ください。※[岩手県内の就労支援機関](#)

<福祉的就労をする>

一般企業での就労が困難な場合は、**就労継続支援 A型**(雇用契約あり)・**B型**(雇用契約なし)事業所などを利用すれば、それぞれに合った作業活動を行うことができます。また、**就労移行支援**を利用して、就職に向けたトレーニングを受けることもできます。



<当事者・家族の会や、相談支援機関とつながる>

高次脳機能障がい者と家族の会「いわて脳外傷友の会イーハトーヴ」で定期的な活動があります。<http://blog.canpan.info/i-hato-v2/>

岩手県総合相談センター、いわてリハビリテーションセンターでも随時相談を受け付けています。

制度利用のためには、医師による診断や、一定の要件を満たしている必要があります。まずは市町村の福祉担当窓口やかかりつけ医、相談支援機関にご相談ください。

2. 研修会情報

いわて脳損傷リハビリテーション講習会

【盛岡会場】

日にち：平成28年12月11日(日) 参加費：無料

時間：13:30～16:00 (受付13:00～)

会場：ふれあいランド岩手 ふれあいホール

内容：第一部 対談「家族の思い ～復活を信じて～」

≪脳出血から10年 奇跡の復活≫

歌手 内藤やす子さんの夫 マイケル・クリスティンソン 氏
栃内第二病院 主任臨床心理士 山館 圭子 先生

第二部 シンポジウム「当事者と家族 それぞれの思い」

シンポジスト 当事者・家族

コーディネーター 山館 圭子 先生

【花巻会場】

日にち：平成29年1月22日(日) 参加費：無料

時間：13:30～16:00 (受付13:00～)

会場：石鳥谷生涯学習会館 講堂

内容：第一部 基調講演

「患者から生活者へのライフスタイルの変化を支える

～高次脳機能障害を抱えて地域の生活者として生きる～」

千葉リハビリテーションセンター高次脳機能障害支援アドバイザー
富山県高次脳機能障害支援センター アドバイザー 太田 令子先生

第二部 座談会

「高次脳機能障がい者と家族への支援 岩手の取組み」

進行 いわてリハビリテーションセンター看護部長 山本 なお子 氏
もりおか障害者自立支援プラザ所長 猿舘 寛 氏
就労継続支援B型生学舎アダージョ施設長 掘間 幸子 氏
NPO 法人いわて脳外傷友の会イーハトーヴ 当事者・家族
アドバイザー 太田 令子 先生

[※詳しくはこちらまで](#)

◆◇いわて再発見◇◆

岩山公園

展望台からの風景



盛岡駅から、車で15分の位置にあり、風致公園として1975年(昭和45年)に開設されました。展望台からは、辺りが一望でき、「日本夜景遺産」「夜景100選」に選定されています。

3. 編集後記

今年も残すところ2ヶ月ですね。岩手山では10月6日に(例年より6日はやく)初冠雪が発表され、次第に朝晩の冷え込みも感じられてきました。

秋といえば、芸術の秋・スポーツの秋・食欲の秋とも言われますので、寒さに負けず、毎日を充実させ過ごして行きましょう!

ご意見ご感想はこちらまで メールニュース担当(佐藤・渡辺・富山・佐々木)

アドレス koujinou-shien-reha@irc.or.jp